

3D試作技術研究会のご案内

3D試作技術研究会の概要

3Dプリンター(Additive Manufacturing/積層造形)技術の進展及び装置の普及によって、試作時間の短縮・オーダーメイド試作市場の隆盛、世界中のものづくりの革新が期待されています。

一方、3Dプリンターを活用するためには、3Dプリンターの特徴を理解し、また3D-CADでの設計や3Dスキャナを用いたモデリング技術など、周辺の3D技術を習得する必要があります。

そこで、平成25年度より3D試作技術研究会を開催し、製造・ソフトウェア・デザイン・印刷・広告・福祉など幅広い分野の企業の方々にご参加いただいて、3D技術の活用を研究・推進しています。

開催報告：平成26年6月19日(木)「金属造形3Dプリンターの最新動向」

平成26年度の第1回では、3Dものづくり普及促進会及び各3Dプリンターメーカーの協力を得て、金属造形3Dプリンターの最新動向を紹介いただきました。

【平成26年度第1回(平成26年6月19日)開催報告】

テーマ:金属造形3Dプリンターの最新動向

協力:3Dものづくり普及促進会

内容:(1)金属造形3Dプリンター等

各メーカー特徴説明(松浦機械製作所、EOS、スリーディーシステムズ、ストラタシス)

(2)講演「3Dメタルプリンターを活用した世界最前線のモノ作り

～Apple、Hewlett-Packard、Honda等が認めたOPM Technology～」

講師:株式会社OPMラボラトリー エンジニアリング事業部 事業部長 網岡 弘至氏

概要:OPMラボラトリー社(京都市)は、金属複合加工(金属光造形と切削加工を1つの装置で行う加工方法)のソフトウェア開発、工法研究及び部品加工を手がけ、当該分野の最先端で事業を展開されております。そのOPMラボラトリー社の技術、金属複合加工の現状と将来展望、Conformal cooling channel(金型の自由水路設計)技術、最新の活用事例などを紹介頂きました。3Dプリンターを用いることにより、他の方法では作製できない、自由かつ空間を取り入れた製品・部品を得ることができます。この特長を活かした製品企画や設計の重要性を感じました。

(3)造形サンプルの展示、樹脂粉末積層3Dプリンター見学



網岡 弘至氏

なお、平成26年度の開催予定は、下記のとおりです。

【第1回】平成26年6月19日(木) テーマ:金属造形3Dプリンター(開催済み)

【第3回】平成26年9月頃 テーマ:樹脂粉末積層3Dプリンターの活用

【第2回】平成26年7月15日(火) テーマ:3次元CAD(Rhinoceros)体験実習

【第4回】平成27年1月頃 テーマ:3D技術の最新動向

設備紹介：高速三次元成形機(樹脂粉末積層3Dプリンター)

京都府中小企業技術センターでは、平成9年より高速三次元成形機(樹脂粉末積層3Dプリンター)を整備し、三次元CAD/CAEと合わせて京都府内企業の方々にご利用いただきました。更に、平成26年3月、ファイバーレーザーを搭載した最新装置に更新し、更に高速・高精度・高耐久性の樹脂成形品の試作が可能となっています。

【高速三次元成形機 主な仕様】

型式(メーカー):RaFaEl 300F(アスペクト)

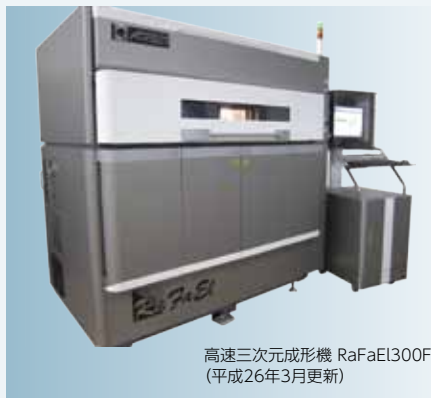
造形方式:粉末焼結法による積層造形(ナイロン)

最大サイズ(実造形):290mm×290mm×370mm

レーザー:ファイバーレーザー ビーム径0.17mm

読み込みデータ形式:STL形式

本装置は、企業の皆様にご利用いただけます。(有料:1時間あたり6,900円(機器貸付))



高速三次元成形機 RaFaEl300F
(平成26年3月更新)

お問い合わせ先

京都府中小企業技術センター 基盤技術課 機械設計・加工担当 TEL:075-315-8633 FAX:075-315-9497 E-mail:mit09@mtc.pref.kyoto.lg.jp